

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第2区分
 【発行日】令和6年3月26日(2024.3.26)

【国際公開番号】WO2022/009865
 【出願番号】特願2022-535333(P2022-535333)

【国際特許分類】
 F 1 6 J 1 5 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)
 F 1 6 J 1 5 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

F 1 6 J 1 5 / 1 0 A
 F 1 6 J 1 5 / 0 0 E

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年3月13日(2024.3.13)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フランジ間に拘束される拘束部に隣接する非拘束部にアウターカットを備え、前記拘束部で受けた荷重により前記アウターカットの形状が変化することを特徴とする、ガスケット。

【請求項2】

荷重を受けて形状が変化するアウターカットを備えるガスケットをフランジ間に設置する工程と、

前記フランジ間に拘束された前記ガスケットに荷重を付加する工程と、

前記荷重を受けて変化した前記アウターカットの形状を計測する工程とを含み、

前記形状に基づき前記ガスケットの締付けを管理することを特徴とする、管理方法。

30

【請求項3】

ガスケットに備えるアウターカットの形状を計測する計測手段と、

前記形状に基づきフランジ間の締付けを管理する管理情報を生成する管理サーバと、

前記管理情報を提示する情報提示部と、

を含むことを特徴とする、管理システム。

【請求項4】

コンピュータにより実現するためのプログラムであって、

フランジ間に拘束されて荷重を受けるガスケットに備えたアウターカットの形状情報を取得する機能と、

前記形状情報に基づき前記ガスケットの締付けを管理する管理情報を生成する機能と、

前記管理情報を提示する機能と、

を前記コンピュータで実現するためのプログラム。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記目的を達成するため、本開示の管理方法の一側面によれば、荷重を受けて形状が変

50

化するアウターカットを備えるガスケットをフランジ間に設置する工程と、前記フランジ間に拘束された前記ガスケットに荷重を付加する工程と、前記荷重を受けて変化した前記アウターカットの形状を計測する工程とを含み、前記形状に基づき前記ガスケットの締付けを管理する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

10

(1) フランジ間からガスケットが受ける荷重でガスケットにひずみを生じさせ、このひずみをガスケットのアウターカットの形状変化として顕在化させることができ、アウターカットの形状変化として可視化でき、容易に認識できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

20

この形状変化における X 軸および Y 軸の方向の形状変化について、図 4 の B を参照する。非拘束部 2 - 2 は矢印 a、b に示すように、径方向に拡張される。Y 1 は非拘束部 2 - 2 が径方向に広がったことを示し、Y 2 はアウターカット 4 の垂直面部 6 が径方向に変位したことを示している。このような変化に伴い、垂直面部 6 の幅 W は幅 W 1 に拡張され、各対向面部 8 - 1、8 - 2 の終端部の幅 W は幅 W 2 ($> W 1$) に拡張される。このような形状変化はフランジ 16 - 1、16 - 2 からガスケット 2 が受ける荷重 F に比例して増減する。この例では、X - Y 軸方向の形状変化を例示しているが、Z 軸方向や厚み方向の形状変化もアウターカット 4 の形状に現れることは言うまでもない。

30

40

50